

まつもと じゅん
松本純

中区・磯子区・金沢区
**まちかど
政治版**

平成19年3月1日号
発行 かながわ1区支部
編集長 平木 茂



3月号
2007年
No.49

松本純ホームページ 毎日更新中！ [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp) ▶検索キーワード「松本純」

世界の三大感染症、日本もひとつではない その意識改革と政治の役割を考える！

「世界基金」という組織をご存知でしょうか？ 正確には「世界エイズ・結核・マラリア対策基金」といい、各国の政府拠出や民間からの寄付を集めて、発展途上国でのこれら感染症の予防、治療、感染者支援のために資金を提供しています。



その活動を支援するため、日本では2002年に世界基金支援日本委員会が設立されました。さらに自民党の逢沢一郎さんを幹事とする超党派の国会議員で構成する議員タスクフォースが2004年に発足し、私もその一員として支援活動に取り組んできました。

世界の三大感染症といわれるエイズ・結核・マラリアは、世界で年間600万人の命を奪っています。これらの感染症は、予防が可能であるにもかかわらず拡大の一途をたどり、残念ながら国際社会はいまだにその流れを止めることができないのです。

日本にとっても、ひとつではすまされない脅威です。エイズの原因となるHIV（ヒト免疫不全ウイルス）の感染者は、2010年には5万人近くに達すると推計されています。結核は「国民病」として恐れられた時期は過ぎましたが、いまだに年間3万人以上が発病。マラリアも観光やビジネスのために滞在した多発地域からの帰国後に発病する人が年間100人弱見られるのだそうです。

感染症の流行は、世界の経済にも大きな打撃を与えています。経済活動の担い手である人材の喪失、市場の縮小などが起こるからです。感染症は多発地域だけでなく、世界の各国がビジネスを展開する上で避けて通れないグローバルな課題となっているのです。

先日、議員タスクフォースの第7回会合が開かれました。ここでは感染症の多発地域に生産拠点を持つ日本企業がどのように自己防衛しているかを学びました。また感染症対策にかかる費用の捻出について、今行われているレッド・キャンペーンについても説明を受けました。その話を聞きながら、私は「日本もひとつではない」という意識改革のもとで政治がどのように関与していくべきか、を考え続けていました。

4月8日(日) は知事選、県議選、横浜市議選の投票日です

地方分権が進む今、地方政治の役割が変わりつつあります。この大切な時期の統一地方選に、自民党本部も責任を持って全力で取り組みます。

松本議員の国会レポート ③⑧

平成19年

【2月9日(金)】

- 午前8時30分 ●社会保障制度調査会医療委員会
- 午前9時10分 ●国会対策正副委員長打ち合わせ会
- 午前9時30分 ●役員連絡会
- 午前10時 ●副幹事長会議
- 午前11時55分 ●代議士会
- 午後0時10分 ●本会議

【2月13日(火)】

- 午前9時30分 ●役員連絡会
- 午前10時 ●副幹事長会議
- 午前11時 ●文化庁文化財保護企画室長から説明聴取
- 午前11時15分 ●経済産業省製造産業局参事官から説明聴取
- 午前11時30分 ●国土交通省住宅局審議官から説明聴取
- 正午 ●為公会事務局打ち合わせ
- 午後4時 ●教育再生に関する特命委員会

【2月17日(土)】

- 午前11時 ●杉田町西部町内会館落成祝賀会
- 午後1時45分 ●JAL1435便で徳島空港着
- 午後2時 ●衆議院議員山口俊一君新春の集い
- 午後5時25分 ●JAL1440便で羽田空港着
- 午後5時30分 ●斎藤睿先生藍綬褒章受章祝賀会
- 午後6時 ●相川後援会光友会

この日から「後期高齢者医療診療報酬」が議題となりました。高齢者の薬の使用や病気の治療は、若い人に比べて急激に増加しています。当然のことですが、一方ではこの伸びをできるだけ抑制しなければなりません。このままでは医療保険財政が破綻してしまうからです。皆さんが重大な関心をお持ちになる問題は、国会議員にとっても大きな課題。そのため会場に入りきれないほどの国会議員が出席しての議論のスタートとなりました。

いじめ問題、先生の資質、親が子を、子が親を殺すという家庭内で続発する事件などを背景に「教育改革」が叫ばれています。政府の教育再生会議、文部科学省の中央教育審議会とともに、自民党内でこの問題を論議するのが特命委員会です。この日は文科省から学校基本法について説明を受け、自由討論に入りました。義務教育年限、学校長の位置づけや権限、家庭・幼児教育のあり方…問題の根深さを表すように熱い議論が続きました。

杉田町西部町内会館は以前、白石住宅の一角を借りて建設されましたが、平成17年に土地の所有者が代わったため取り壊されました。その後、別所辰五郎会長をはじめ町内会の皆さんが三菱地所、東急建設、東急不動産の協力と横浜市の助成で新しい町内会館を完成させたのです。町内会を法人化するなどさまざまなハードルがあったそうですが、それをひとつひとつ乗り越えてこられた町内会の皆さんに敬意を表して挨拶しました。



▲2/10 今年10月からの郵政民化に取り組む横浜南部特定郵便局長会で



▲2/14 国会見学に訪れた磯子区汐見台小学校6年生の皆さん



▲2/16 国対正副委員長打合せ会前に二階俊博委員長の誕生日を祝して



▲2/17 磯子区杉田町西部町内会館(旧日石公園)が落成した祝賀会にて

永田町日記 サミット、横浜・新潟の開港都市開催にサクラは咲くか？

2008年に日本で開かれるサミット(主要国首脳会議)の開催地をめぐる誘致合戦がいよいよ大詰めを迎えています。立候補しているのは、横浜・新潟の開港都市組、京都・大阪・神戸の関西組、岡山・香川の瀬戸内組などです。もちろん私は開港都市開催のために汗を流しています。2008年は函館、新潟、横浜、神戸、長崎の開港が定められた「安政の5カ国条約」締結から150周年。まさに世界に開かれたサミットの開催にはふさわしい歴史的意義があり、横浜ではさまざまな記念事業・行事が予定されている翌年の「開港150周年」につながるからです。すでに政府の現地調査も行われ、開催地は数か月後には決定されるといわれます。私ももう一汗! です。(純)

まつもと じゅん プロフィール▶昭和25年4月11日、横浜市中区生まれ▶本町小、聖光学院中・高、東京薬科大卒、薬剤師▶本町小PTA会長、横浜JC専務理事、野毛大道芸実行委員長など街づくりや地域活動に取り組む▶平成2年～横浜市議(3期)▶平成8年～衆議院総選挙で初当選。専門を生かして医療・福祉・年金などに全力投球。介護保険制度を創設した責任者の一人▶平成12年～総選挙で次点落選▶平成15年～衆議2期目。総務大臣政務官に就任。▶平成17年～衆議3期目。総務大臣政務官に再任。三位一体改革、行財政改革など新しい日本の国形をつくるため奮闘。▶平成17年11月～議院運営委員会理事、国会対策委員会副委員長として国会運営等に取り組む。▶平成18年9月～安倍内閣で自民党副幹事長に